

マテリアリティ

■ マテリアリティの目標と2025年度の実績

マテリアリティ	目標年度	目標	実績
気候変動への対応	2030年度	●事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減（スコープ1、2）→50%削減（2018年度比）	●2018年度比約40.4%削減
	2035年度	●事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減（スコープ1、2）→カーボンニュートラル	
	2050年度	●事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減（スコープ3）→カーボンニュートラル	
自然エネルギーを利用した持続可能な社会の実現	2025年度	●再生可能エネルギー、水素に関わる技術、活動状況の外部公表 →1件/年以上	●サプライヤーへのヒアリング調査およびグローバルでの算定トライアルを実施 ●外部公表5件（防災道の駅「しもつけ」に移動型独立電源「N ³ エヌキューブ」が採用他）
エネルギーロスの低減	2025年度	●電動・EV化、省電力化に関わる技術、活動状況の外部公表 →1件/年以上	●外部公表3件（EV用至高機能なボールタイプしゅう動式等速ジョイントを開発他）
安全と快適の提供	2025年度	●ロボット周辺モジュール、サービス・ソリューションに関わる技術、活動状況の外部公表 →1件/年以上	●外部公表5件（軸受診断エッジアプリケーション「Bearing Inspector」の販売を開始他）
資源循環・汚染防止	2025年度	●水使用原単位 →3.95m ³ /百万円（グローバル）	●3.25m ³ /百万円（グローバル）
	2025年度	●リサイクル率 →97.0%以上（グローバル）	●96.9%（グローバル）
製品・サービスの信頼性向上（品質保証・安定供給）	継続	●顧客満足度の高水準維持 →「大変良い」「おおむね良い」の割合90%以上	●96%
	継続	●品質マネジメントシステム認証（ISO9001/IATF16949）取得率100%維持	●100%認証維持
	継続	●グループ全体での情報セキュリティ対策強化	●情報セキュリティ監視体制（NTN-CSIRT）を海外拠点へ展開中
環境・社会を重視した調達活動	2025年度	●サステナブル調達アンケートの回答に基づき、取引先さまへの指導を実施	●アンケート内容に基づき、5社に詳細調査を実施
労働安全衛生の推進	継続	●健康経営優良法人（大規模法人部門）「ホワイト500」認定維持	●認定維持
	継続	●製造拠点を対象としたリスク・サーベイの年間計画の達成度 →100%	●100%
人権の尊重	2025年度	●NTNグループの人権尊重の状況の把握（モニタリング）と課題への対応	●グループ各社の人権での対応状況を把握、特筆すべき問題なし
人材育成	2025年度	●従業員一人あたり研修時間（当社）→対前年比増加（2024年度実績：21.0時間）	●24.1時間
ダイバーシティの推進	2026年度	●女性管理職比率（当社）→5%	●4.9%
	2026年度	●男性育児休業取得率（当社）→100%	●89.6%
コンプライアンスの徹底	継続	●コンプライアンス委員会の年間開催回数 →2回	●2回
	継続	●コンプライアンス意識調査におけるヘルプラインの認知度 →90%以上	●92.3%
ガバナンスの強化	継続	●コーポレートガバナンスの充実	●コーポレートガバナンスの充実

*目標年度に「継続」と記載のものは、毎年、継続して達成を目指していく目標です。

WEBサイトの関連情報

2026年度以降の目標

